

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②事業者情報

名 称：社会福祉法人 岐阜県福祉事業団 岐阜県立ひまわりの丘第四学園	種別：障害者支援施設
代表者氏名：河 口 嘉 男	定員：生活介護 120名 施設入所支援 100名 短期入所 6名
所 在 地：関市桐ヶ丘三丁目2番地	TEL 0575-23-2554

③総 評

◇特に評価の高い点

初めて、ひまわりの丘学園の評価をさせていただいてから10年程経過しているが、この間の制度変遷はめまぐるしく変化し、ケアホームの立ち上げ、障害者支援施設への移行、グループホームの開設等、その時代時代に対応し、現在、施設サービスに加え、短期入所、日中一時支援等の地域福祉サービスを展開している。

本施設は、建築後40年以上の時を経ており、改修をその都度行ってきているが、時代に追いついていない建築設計や老朽化による不便さは否めない。平成34年までに全面建て替えを予定しているということであるが、一方で利用者の高齢化・重度化対応も待ったなしの状況になってきている。これからの7年間、利用者をどのように支えていくのかが課題となる。しかしながら、今までのように、全職員チーム一丸となり、「事業団スピリット」を発揮して、困難を乗り越えていくものと期待している。

見学の際には、縫製、園芸、弁当・配食サービスを中心とした生産活動や椎茸栽培、クラフト作業、木工等の日中活動に生き生きと勤しむ利用者の方々の様子が伺えた。また、広々として、自然豊かな園内を思い思いに行き来している利用者の姿も見られ、利用者の興味を引き出し、尊重し、また自主性を重んじて支援している様子が伺えた。

地域交流については、夏祭り、学園祭、たのしみん祭等の行事が多く地域の住民やボランティア等の参加を得て実施されている。地域との関係性を日頃から重視し、近隣の清掃活動を実施する等地域の一員としての役割を果たしている。同時に、併設の地域生活支援センターの相談事業を通して、地域の潜在的ニーズを掘り起こし、在宅の障がい児・者の積極的な受け入れに努めている。とりわけ、地域のセイフティネットとしての機能を自負し、地域の拠点施設として、重度の障がい児・者の受け入れにも努めている。

利用者支援体制については、理念・基本方針を「基本姿勢カード」にして携帯し、毎朝、読み合せする等職員の意識向上に努めている。また援助技術の標準化を目指して各種マニュアルを整え、内部コミュニケーションを円滑にするための各種会議が実施されている。運営の評価については、園内部での自己評価が実施され、また、外部の「利用者の豊かな生活をめざす委員会」による第三者評価を受審している。

◇改善を求められる点

施設という限られた社会で生活している利用者にとって外出(散歩・買い物)は何より楽しみにしている活動であるので、今後ともボランティアや社会資源の活用について工夫し、園外ショッピングその他の外出活動のさらなる機会拡充に向けた取り組みに期待したい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

我々が忘れていたこと、気づかなかったこと、改善できていなかったことなど、貴重なご意見、ご要望を頂戴いたしまして、ありがとうございます。

支援は、きめ細やかな寄りそうことを心がけておりますが、充分とは言えません。利用者主体の支援や個別化を目指していく必要性を感じています。職員一人ひとりが支援の技術や質の向上に努力するよう指導していきたいと思えます。

生活環境等については、施設全体の老朽化や利用者さんの高齢化・重度化により、まだまだ不備な箇所があります。ひまわりの丘再整備により、安心して暮らしやすい環境をご提供できると確信しております。

利用者の皆さんが楽しく生活、活動できる明るい施設を目指してまいります。今後ともご協力よろしくお願ひします。

⑤評価細目の第三者評価結果 (別添)